

七尾市の人口減少と能登地域の衰退

指導教員 金沢大学 教授 松島大輔

参加学生 4年 中村温雅 岡本岳人 定免泰誠 花田怜大 加木翔太
3年 赤秀颯太

令和 6 年能登半島地震に関わる皆さま

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます
また被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに
復興に尽力されている皆様には安全に留意されご活躍されることをお祈りいたします

地域団体への謝辞

一般社団法人きたまえ JAPAN をはじめ、七尾市役所や七尾商工会議所、七尾高校の
皆様、また今回の活動をご支援・ご協力いただきました皆様にこの場を借りて御礼
を申し上げます。この度は誠に有り難う御座いました。また、引き続きご指導・ご鞭撻
の程、宜しく願い申し上げます。

金沢大学 松島ゼミナール一同



約30名の金大生が
大集合！！みんなで
了登屋台村へ！



金沢大学生 コラボ祭り

ステージや遊びが盛りたくさん！
ガラボン抽選会もあるよ！



11時15分～
14時45分～

木道芸サークルJMC



12時～
15時30分～

金KIRA凛～篠笛～



常設

ボードゲーム 第三職員室



12時30分～

お笑いサークル「笑風」



14時～

ダンスサークルPhilia

ガラボン抽選会
12月14日（土）11:00～



ガラボン抽選会



金沢大学生特別ステージ

※時間は予定です

お問い合わせ anshin.project.jp@gmail.com

1. 活動の要約

金沢大学産学融合研究会（松島ゼミ）が株式会社九州電力さまとの共同研究の一環として行っている「Anshin Project」にて、令和 6 年能登半島地震の復興支援のため、能登を中心とする地域の伝産品を販売する物産展を長崎駅直結の商業施設「アミュプラザ長崎」にて物産展を実施した。

また、実施における、能登の事業者への事前取材や能登の事業者の取りまとめなどに関しては、一般社団法人きたまえ JAPAN さまと金沢大学産学融合研究会（松島ゼミ）が連携し執り行った。さらに、長崎での物産展においても一般社団法人きたまえ JAPAN さまと連携をされている事業者や一般社団法人きたまえ JAPAN さまの皆様は長崎にご足労いただき商品販売やトークセッションなどを実施した。また、同様の物産展を能登屋台村にて、金沢大学松島ゼミとしても商品販売を行いながら第二弾イベントとして実施した。

金沢大学松島ゼミとしては、2 回のイベントで継続して消費者の声を事業者に伝えることができる「FAN 通貨」システムである「SENTOKU」を開発し、被災地の事業者に応援の声を届けるためのツールとして活用した。

2. 活動の目的

令和 6 年元旦に発生した能登半島地震により被災した事業者の応援として、事業展開と販路拡大の機会を創出すると共に、開催地域との交流、地域経済の活性化を目的としてイベント「のたと、わたしと」（以下本企画）を実施した。

本企画においては、アミュプラザ長崎様にご協力いただき、能登・長崎双方の魅力を商材やサービスを介して伝えると共に、震災により被害を受けた能登の現状、復興状況などを知る機会として、現地からのメッセージや関わる方々の想いを届けた。本企画を通じ、地域、企業、個人、一人一人が新たな社会との向き合い方を構築し、持続的な応援、連携を育むことを目指した。

また、第二弾イベントとして、七尾市の PATRIA1 階にある能登屋台村にて、能登屋台村 1 周年記念祭イベントを実施した。本イベントでは、屋台村の認知度を一層高めるとともに、地域内外からの継続的な関係人口を創出するための重要な機会となることを目指し、イベントでは、参加者が屋台村に関連したアンケートに回答することで、能登屋台村内で利用可能な域内商品券 AnshinCoin が当たるガラポン抽選会を実施した。このキャンペーンにより、屋台村を訪れる顧客層の拡大と販促活動のさらなる強化を図った。

3. 活動の内容

○ 第一弾イベント基本情報

- ▶ イベント名
「のたと、わたしと」
- ▶ 開催日時
1 日目：2024 年 10 月 26 日（土）11 時～17 時
2 日目：2024 年 10 月 27 日（日）10 時～16 時
- ▶ 開催場所
アミュプラザ長崎 かもめ広場 多目的広場
- ▶ 主催/協力
主催：九電グループ
協力：JR 九州グループ、ひとことものの公社、金沢大学産学融合研究会

○ 第二弾イベント

- ▶ イベント名

屋台村 1 周年記念祭

- ▶ 開催日時
1 日目：2024 年 12 月 14 日（土）11 時～16 時
2 日目：2024 年 12 月 15 日（日）11 時～18 時
- ▶ 開催場所：能登屋台村 PATRIA1 階
- ▶ 主催：ナナイベ合同会社
- ▶ 協力：金沢大学産学融合研究会

4. 活動の成果

○ 第一弾イベント

- ▶ 長崎駅前の利用者数：約 2 万人
能登からの出店では合計約 167 万円の売上、イベント全体で 210 万円の売上があった。物産展当日は、能登地域ならではの品々が並び、能登事業者との交流を通して多くのお客様に能登の現状と魅力を伝えた。また、ホームページと復興支援ブース上では、より詳細な事業者の復興後の姿、どのような想いで商品販売を継続しているか等、「想い」にフォーカスを当てた紹介を実施した。お客様にリアルな声を伝えることに加えて、お客様からの応援メッセージも募集し、約 200 件の応援が集まった。

参考）HP に掲載した事業者の想いを伝える紹介例

<https://www.anshinproject.jp/nagasaki2024-noto>

○ 第二弾イベント

- ▶ 来場者数
2 日間総合約 500 名
 - ① 金沢大学関係：5 団体 39 名
Philia14 名/笑屋 10 名/金 KIRA 凛 3 名/第三職員室 2 名/司会者 1 名/SBC9 名
AnshinCoin28,000 円分を団体配布
 - ② 太鼓関係：14 団体 200 名
- ▶ 利用金額/場所
 - ▶ 振興券管理情報
 - ◇ カード版 70,500 円
 - ◇ アプリ版 3,800 円
 - ▶ 店舗ごとの振込金額・決済履歴
 - ▶ 総合 92 回 74,300 円：カード 88 回 70,500 円/アプリ 4 回 3,800 円の決済利用
 - ◇ ①きたまえ JAPAN の子店舗である能登屋台村 BBQ 65,000 円
カード 61,700 円/アプリ利用 3,300 円
 - ◇ ②洋菓子店シエル 7,800 円
カード 7300 円/アプリ利用 500 円
 - ◇ ③SandBoxConnections1500 円

○ SENTOKU での調査結果

1. 屋台村イベント実施報告：ファン通貨・購買傾向診断

ファン通貨（24回答）

実施内容

- ・QRコードカードに下の設問アンケート用紙を留め回答をもらう
- 1) 購入を決めたのは？（会場前/1回目/店を通ったとき/他と比べて戻ってきた）
- 2) 購入の決め手は？
（店・商品のファン/接客/デザイン・匂い/メニューの内容・豊富さ）
- 3) 一番好きだった商品は？（記述式）
- 4) 下2つの設問のどちらかがランダムに実施
・似た商品より好きな点を具体的に教えて！
・好きなものを知らない人に魅力を伝えて！

結果→考察

- ・QRカードに紐づいたアンケートは4回答（16%）のみ
- 店員への周知の不足により、店員がカードのみ回収していた
- ・「店のファン＝会場前、接客/デザイン＝1回目、メニュー/コスバー比較」との仮説は多少傾向は見えたものの、はっきりと結果には出なかった

店・商品のファン	会場前	1回目	戻ってきた	計
店・商品のファン	1	0	1	2
接客	3	3	0	6
デザイン・匂い	0	1	1	2
メニューの内容・豊富さ	3	5	5	13
価格・コスト	2	2	3	7
同業者のため・シェアのため	0	0	0	0
計	9	11	10	

- ・会場にあった3つの丼メニュー（海鮮/能登豚/唐揚げ）については、「メニュー/コスバー比較」としたとき、比較したうえで購入を決めていると考えられる

Anshin
あししんプロジェクト
Project

店・商品のファン	会場前	1回目	戻ってきた	計
店・商品のファン	1	0	1	2
接客	3	3	0	6
デザイン・匂い	0	1	1	2
メニューの内容・豊富さ	3	5	5	13
価格・コスト	2	2	3	7
同業者のため・シェアのため	0	0	0	0
計	9	11	10	

・ファン度のスコアリング材料として設定している記述式のコメントについてはこれまで実施した内容（応援コメント、ファンレター）と比べて、コメント量と内容に大きな差はうまれなかった

■ファン投票という形で記述式で質の高いコメントを収集することに限界がある。お題の制約が甘いため、とっさに思いつくことが難しい

今後について

- ・QRカードでの投票方法はこれまでで最も回収率が高かった。また設問内容も1)、2)については回答がスムーズに行われていたため、同様の方法でより拡大のしやすさ及び、データ解析が容易になる方法の検討
- ・引き続きコメント形式で定性データを収集する場合の、質の高い回答を得るためのお題の設定
- ・コメント以外の形式で定性データを収集する方法の検討

Copyright(c) Anshin Project.All Rights Reserved

3

1. 屋台村イベント実施報告：ファン通貨・購買傾向診断

購買傾向診断（60回答/FBアンケート48回答）

実施内容

- 購買傾向を診断する診断をオンライン（Google Form）で受けてもらう
- ブースにて診断結果と結果に対する下記のフィードバック用アンケートを渡す

設問

- 診断結果は自分に当てはまると思うか
- 診断は楽しかったか
- 実際の購買データから診断をするサービスについてどう思うか
（抵抗がある・利用しない/メリット次第/抵抗はない・利用したい）

結果→考察

- ・FBアンケートを回答することで抽選会に参加できるため、12人（20%）はアンケートそのものに興味を持って参加したと考えられる
- 1日目にその傾向が多く、1日目は大学生の参加者が多かったため、若者には興味を持ってもらいやすいといえる
- ・大半の人は結果を当てはまると感じている

当てはまるか	(人)	(%)	
当てはまる	5	14	29.17
	4	21	43.75
	3	10	20.83
	2	3	6.25
当てはまらない	1	0	0
計	48	100.00	

- ・アンケートを楽しいと感じる人も大半を占めていたが、ブース前で回答をしていた1人で来たの3-40代の人たちは、回答中は楽しそうな様子ではなかった。ただ、結果を共有する相手がいる人は、結果を受け取った後楽しそうにしている様子が見えた。

Anshin
あししんプロジェクト
Project

楽しいか	(人)	(%)	
楽しい	5	11	22.92
	4	20	41.67
	3	14	29.17
	2	2	4.17
楽しくない	1	1	2.08
計	48	100.00	

・リアル購買データを使った診断については、肯定的な人が多かった

実際の購買データを利用した診断について

(人)	(%)	
利用しない	1	3.33
メリット次第	18	60.00
利用する	11	38.67
計	30	100

課題・今後について

- ・引き続きオンラインでの診断を大学生を中心に実施。フィードバックを継続的に回収し、設問及び診断結果の内容の改良を行う
- ・展開ビジネスとして、1人1人の顧客それぞれが求めている接客や、購買の傾向を来店時に従業員に転送→適切な接客で顧客満足度の向上を図るサービスを検討。
- ファン通貨との連携として、実施した接客やおすすめされた商品・サービスに対するフィードバックを購買意思として送信。これまでのファンスコア同様に顧客のスコアリングの実施は継続しつつ、従業員間のスコアリングについても展開を検討する

Copyright(c) Anshin Project.All Rights Reserved

4

5. 今後の活動計画

本企画を通じて、遠方地域である長崎に能登の現状や魅力を伝えることができ、地域の特産物や現状への理解が深まる機会となった。一方で、広報体制や継続的な取引・販路開拓の仕組みについて、課題が見受けられた。今後の展望として、一度限りの物産展で終わらせることなく、能登の地域資源が長崎で持続的に販売・展開されるための販路開拓施策を推進したい。具体的には、能登地域外の企業・店舗とのコラボレーション商品を開発・物産展での販売を行う。その後も連携企業・店舗で継続販売を行うことで、物産展の枠を超えた連携を目指す。今回の事例で考えると、能登からの商材を、長崎の店舗で仕入れし、商品開発することで、単なる物産展の来場者向け販売に留まらず、長崎市内の店舗やオンラインでの継続販売に繋がる流通網を構築できると考える。また、イベント終了後も長崎の消費者に能登の商品を継続的に提供する仕組みづくりとして、ポップアップストアを長崎市内の商業施設などに中長期で展開し、能登のブランドイメージを継続的に訴求する場を設けられるような形を実現したい。以上のように、短期的な販売イベントにとどまらず、長期的な視野で販路の創出と市場への定着を目指すことで、能登の持続的な発展と地域間交流を促進していきたい。

6. 活動に対する地域からの評価

○ 第一弾イベント

▶ イベント利用者（購入者）

◇ 学生時代に冬の七尾に行きました。地震のニュースを見るたび、「能登の七尾の冬は住

うき」という俳句が頭をよぎります。笑顔の皆さんが素敵でした。

- ◇ 元旦地震の時に能登がこんなことになって心を痛めています。1 日も早く能登が復興できるよう、祈っています。頑張れ！能登！
- ◇ 3 月に災害ボランティアで七尾に出向きました。あれあら豪雨災害でのダブルパンチに心が痛みました。ですが今日お会いした方々は皆さん笑顔で「頑張ります」と元気におっしゃっていました。これからまた必ず七尾と繋がって行こうと思っております。ありがとうございました。
- ◇ 看護師です。被災地支援に従事されている方々を尊敬しています。たくさん食べて飲んで、楽しませてもらいました！お身体にはお気をつけて。明日も来ます！
- ◇ きれいなろうそくで一番最初に貴店に足が向きました。復興は本当に大変だと思います。今回このイベントで皆様の想いを知りましたので、何か私でも出きることを探していきます！このような機会をいただき、ありがとうございます。
- ▶ イベント参加事業者
 - ◇ 遠くにいても、応援ということたくさんの方に買っていただけて非常に嬉しかった。物産展という出店形態にとどまらず、様々なコラボレーションを通して販路開拓ができる状態をつくることのできるようにしていきたい。
 - ◇ 長崎という金沢から離れた地域での開催だったため不安もあったが、現地で当社の商品を知っていらしている方がわざわざ応援に駆けつけてくれて非常に嬉しかった。
- ▶ JR 長崎アミュプラザ（丸山さん）
 - ◇ かもめ広場という場所を提供させていただくことで、長崎の方々が少しでも能登の現状を知るきっかけになることが一番だと思います。今回のイベントのように、地元で頑張られている事業者さまへの活躍の場を提供することは共感するビジョンです。我々もマルシェ型のイベントをおこなっていくことで、事業者さまの育成支援を行っていきたいと考えております。

<https://www.anshinproject.jp/nagasaki2024-nagasaki-1-1>

○ 第二弾イベント

▶ 参加者の声

◇ 金沢大学 1,2 年生 10 人組の男性

イベントに出演させていただきありがとうございました！能登にこのような場所（屋台村）があることを知らなかったのも、来ることができて非常に良かったです！またぜひ呼んでください！

◇ 金沢大学 2 年生ダンスサークル

出演させていただきありがとうございました。たくさんの方に見ていただくことができうれしかったです。

もともと石川県かほく市出身で、PATRIA のことは知っていましたし、屋台村ができた当時は盛り上がっていたので、1 周年で呼んでいただけて嬉しかったです。

復興支援で始まった屋台村だと思いますが、もっと盛り上がったら嬉しいです。